

平成 20 年度事務事業評価表(団体運営費補助用)

①事務事業名		担当	部課コード	040100	TEL	2998-9113
事業コード	民生委員・児童委員連合会補助金	担当部課	保健福祉部 福祉総務課			
040114		グループ	総務・民生委員担当			
補助開始年度		昭和	60	年度	→	終了予定年度
		平成		年度		

②事業の内容	根拠法令	民生委員法、(県)民生委員及び児童委員活動費等補助金交付要綱							
	分野別計画・指針								
	関連・類似事業	民生委員・児童委員及び協議会活動推進事業(福祉総務課)							
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	1節 地域福祉	中柱	2 福祉活動の充実	小柱	(3) 民生委員・児童委員活動の推進
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ								
	コード	3261		事務事業見直しの推進	コード		コード		
補助開始の背景	昭和60年度に民生委員・児童委員連合会の団体事務が市から社会福祉協議会へ移行したことに伴い、事業への支援の一つとして補助金交付を開始した。								
補助の目的	民生委員・児童委員連合会の事業の活性化を図り、研修事業等の実施による委員の資質向上を図る							団体への加盟数	
団体における実施事業の概要	・行政関係機関からの講師を招いての研修を企画・実施 ・県社会福祉協議会等の機関が実施する研修に連合会を代表して出席 ・高齢者の在宅介護支援・自立支援のため、地域包括支援センターが主催する「地域ケア会議」に参加							493	単位 民生委員・児童委員定数

③経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	補助金支出額当初予算		1,086	1,094	1,094	
	補助額決算 (見込み含む)		1,086	1,086		
	臨時職員賃金		人	0.10 人		
	正規職員人件費		0.24 人	2,208	0.62 人	5,824
	事業費合計		3,294	6,910		
	市民一人当たり(単位:円)		9.7	20.4		

④指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	団体活動実績	専門部会開催回数	専門部会の年間延べ開催回数		61	60	63	65
		専門部会開催回数	連合会全体研修会及び各専門部会主催研修の年間延べ開催回数		19	20	22	25
	成果分析	全体研修参加人数	全体研修会参加人数÷民生委員・児童委員定数×100	目標値	90	90	90	90
実績				88.9	89.2			
		%	達成率	0.99	0.99	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2 1		

⑤一次評価	補助金の有効性	評価項目	総合計画への貢献度	<input type="checkbox"/> 貢献度は高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度貢献している	<input type="checkbox"/> 貢献度は低い	
		成果分析に基づく目的の達成度	<input type="checkbox"/> 達成度は高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度達成している	<input type="checkbox"/> 達成度は低い		
		団体活動の自主性	<input checked="" type="checkbox"/> 自主性は高い	<input type="checkbox"/> ある程度自主的である	<input type="checkbox"/> 自主性は低い		
		事業費に占める補助金の割合	<input type="checkbox"/> 81%以上	<input type="checkbox"/> 61%~80%	<input type="checkbox"/> 41%~60%	<input checked="" type="checkbox"/> 21%~40%	<input type="checkbox"/> 20%以下
		活動内容及び会計処理の適切さ	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善余地がある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が大きい		
		今後の必要性	<input type="checkbox"/> 増大する	<input type="checkbox"/> 減少する	<input checked="" type="checkbox"/> 変わらない		
目標設定	H20	目標項目	研修等を通じて民生委員・児童委員の資質向上。	達成水準	本事業の目的もある程度達成されている	時期	平成20年度末
	H21予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り	<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 終了	
上記評価理由(補助金の有効性及び予算の方向性)	社会情勢からも地域住民からの相談支援も複雑化しており、研修等を通じて民生委員・児童委員の資質向上が挙げられる。また、市よりの調査や各課事業への協力要請も多くなってきており密な連携体制を構築していく必要がある。今後も引き続き民生委員・児童委員連合会への助成事業の必要性は高いと判断するものである。						
評価日	平成20年5月2日	記入者職氏名	福祉総務課長 中村 俊明				

⑥二次評価	次年度用評価	部内優先順位...	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標							<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト							<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
評価日									

⑦個別計画の方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	施策の体系	施策の方向			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	基本目標				
主要課題					
施策の方向					